

どすこいかわ版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

地域住民に親しまれる

「すみだ北斎美術館」開館

世界的に有名な浮世絵師葛飾北斎は我が墨田区で生まれ、約90年の生涯のほとんどを墨田区で暮らしたといわれています。その生涯を明らかにし、人物や作品について多くの人に知ってもらい、北斎に関する情報を地域へ、世界へ発信する美術館が、生誕の地といわれる亀沢に昨年11月22日に「すみだ北斎美術館」として開館しました。

先日、開館から2か月が経った様子を訪問し、観覧してきました。

JR両国駅東口から徒歩9分、都営地下鉄大江戸線両国駅から徒歩5分、北斎通



斬新なデザインの外観

世界的に有名な浮世絵師葛飾北斎は我が墨田区で生まれ、約90年の生涯のほとんどを墨田区で暮らしたといわれています。その生涯を明らかにし、人物や作品について多くの人に知ってもらい、北斎に関する情報を地域へ、世界へ発信する美術館が、生誕の地といわれる亀沢に昨年11月22日に「すみだ北斎美術館」として開館しました。

コンセプトは「街に開き、地域住民の方々に親しまれる美術館」。

アルミパネルは四季折々の光や色合いを楽しんでもらうことができます。公園と一体化して、いろいろな方向から入口に向かうことができます。

美術館の展示室には窓がないのが特徴ですが、すみだ北斎美術館では通路側をガラス張りにする事で、直射日光が展示室に入らないようになっています。作品を守るために展示室は暗めになっています。

開館から45日間で9500人と予想以上の来館者がありました。一日1000人から2000人の方が訪れます。中にはツアーで来られる方もいます。来館

者は、北斎のファンはもちろん、新しいもの見たさが目的の方や、建築関係の方の姿も多く見られます。



3階ホワイエ、スカイツリーも見えます

また既にリピーターの方もおられるようです。企画展では開催期間中に作品を展示替えしますので、その度に新たな展示品に出会える楽しみもあります。顔ぶれは日本人のシニア層が3割弱といったところですが、北斎は欧米で評価が高いので、今後は欧米からのお客様の増加も見込まれることでしょう。

建物は4階建て、常設展示室は4階にあります。入場するとすぐに大きなパネルがあり、北斎ゆかりの場所が分るようになっていきます。4階の目玉は区内の牛島神社に奉納された「須佐之男命厄神退治之図」です。

開館から45日間で9500人と予想以上の来館者がありました。一日1000人から2000人の方が訪れます。中にはツアーで来られる方もいます。来館

す。この作品は関東大震災で焼失し、白黒写真だけが残されていました。それを元の姿に推定復元したものです。

本美術館の収蔵品は約1800点あり、常設展示室には北斎と一門などの高精細レプリカが約40点展示されています。年代別に作品が並べられていて、作品の変遷もわかるようになっています。展示室内には北斎と娘が絵を描く等身大と思われる人形もあり、絵筆を持った手が動く様子が見られます。

その他には作品のタッチパネルがあり、画面にタッチして指で拡大すると小さく描かれている人物の表情まで確認することができ、これまでの見るだけの美術館ではない楽しみも味わえます。

2月4日から始まっている企画展は、「すみだ北斎美術館を支えるコレクター」。

「中年子育て奮闘記」 その21 鈴谷 明

「冬の楽しみ①」

この連載も、21回目となりました。今までは健康や食事の話題ばかりで少し窮屈だったと思いますので、今回は子供と過ごす冬の楽しみ方についてお話ししたいと思います。

お正月の過ごし方はそれぞれのご家庭でいろいろだったと思います。帰省、家族旅行、新年会、定番の寝正月等々。我が家の場合、私の実家は隣町なので年中「帰省」しているのですが、妻の実家ははるか北国ですので、そう易々と帰ることは叶いません。そこで、この年末年始は夫婦ともども思い切って勤務先に無理を言ってお休みをいただき、「北国」を味わうことにしました。

出発早々、飛行機の遅延で大幅に空港で足止めされたこともありましたが、久しぶりに親子で外出できたことに加え、幸い娘は大の飛行機好きなので、ほとんどぐずることもなく空の旅を満喫して目的地に到着できました。雲の切れ目から飛行機が

どんどん下降し、滑走路に着陸すると、そこは雪が舞う一面の銀世界です。娘だけでなく、久しぶりに私たち夫婦も童心にかえって大喜びでした。

「北国」とか「雪国」というと寒さが厳しく積雪の多さで過酷な環境であることは事実です。しかしそんな中でも子供たちは逞しいですね。冬をしつかりと

楽しんでいきます。

まずは「そり遊び」です。気温がマイナス15℃ぐらいまで下がるため、雪はサラサラの粉雪ですからよく滑ります。街のおもちゃ屋さんでプラスチック製の大きなお皿型のそりを買求め、早速、近所の小さな丘から娘も滑り出しました。「近所の小さな丘」とは言うものの、高低差は10メートル、滑走距離は100メートル以上あります。

最初は親子で一緒に始めたいもの、数日後にはひとりです。滑るようになった。とは言うものの、その姿はかわいいお皿に暖かく着込んだ小さなお豆さんがちょこんと載っているようで微笑ましいものでした。



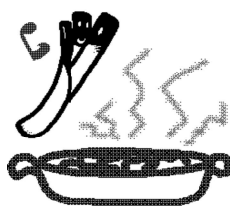
手軽にクッキング 76

< 2月の汁物 >

「とろみスープ」 (1人分 112kcal)

<材料> 2人分

長ネギ	50g
長芋	50g
豆腐	100g
おろし生姜	少々
だし汁	300g
塩	2g
しょう油	少々
片栗粉	4g



<作り方>

1. 長ネギは、小口切り
2. 長芋は皮をむき、厚めのちょう切りにする
3. 生姜はおろしておく
4. 鍋にだし汁を入れ、温める
5. 長芋を入れ、さっと煮る
6. 調味料を加え、味を確かめる
7. 水で溶いた片栗粉を加え、とろみがついたら、豆腐を崩し入れて煮る
8. 長ネギを加えて、火をとめる
9. おろし生姜を入れ、器に盛る

ねぎ・生姜を入れてとろみをつけた温かいスープで、寒い時期を乗り越えてください。

(協力：食育支援部)

知っておきたい認知症の豆知識

平成28年4月号に第1回、7月号に第2回、8月号に第3回の豆知識として掲載してきました。

第4回 認知症の本人には「自分が認知症であるという自覚はない」

- そうでしょうか? ある日突然認知症になるわけではありません。本人が一番不安なのです。記憶が欠落していく中、「なんだか最近物忘れが多くなった」と気づき、戸惑い、恐怖、焦燥感で、たまらない気持ちになっているはずです。
- 医師と相談
認知症は特別な病気ではないと認識し、正しく理解する事です。人生長く生きていれば、若い時の知能では当然ありません。記憶力、理解力が鈍るのは当たり前の事です。早期に治療することによって、進行を遅らせ、良い状態を保つ事も可能です。
- 地域で相談できる所は
高齢者支援総合センター（地域包括支援センター）があります。いつでも相談できます。
住み良い環境をどの様に作れば良いか、そして長く地域で暮らすには。高齢社会の我が国に於いては地域の方々とのコミュニケーションが大切です。
介護保険の利用の仕方の相談や、薬の飲み忘れが多くなったなど、日常生活を整える手助けをしてくれます。
- 高齢化が進めば、認知症の方は増々ふえていきます。若い世代の方にも認知症の正しい知識を持っていただきたいと思います。

※たちばな高齢者支援総合センター築山佳代子さんに伺いました。



「シニア人材バンク登録者募集」
ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。
パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。
皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか?

メルマガ希望者募集

☆ 墨田区では毎月1日、15日に地域のイベント情報等をパソコンメールで希望者にお送りしています。
ご希望の方は、住所・氏名・年齢をメールでお知らせください。件名にメルマガ希望と記入してください。

tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

平成28年度 第4回 セカンドステージセミナー

～元気で100歳 今年も墨田で粋に暮らそう～

・♪ バスーンの音色を聴いてみよう ♪・

日本びいきの仏人奏者の演奏とお話しをお楽しみに

日 時：平成29年3月15日(水) 午後2時から4時まで

内 容：第1部 ◇日本の童謡・唱歌・演歌 演奏 スタン・ジャック氏

第2部 ◇簡単なストレッチ体操 押野康代氏(理学療法士)

◇みんなで一緒に歌いましょう 吉岡 リサ氏(歌手)

会 場：すみだリバーサイドホール2階イベントホール(墨田区役所併設)

参加費：無 料 定 員：200名

♪ どなたでも、お気軽にお越しください ♪

申込み：NPO法人 てーねん・どすこい倶楽部 事務局

電話 5631-2577 (平日午前10時～午後4時)

主 催：墨 田 区 企画・運営：NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

平成28年度 第6回 生きがい講座

主催：墨田区 これだけは知っておこう

お墓、これからの供養実務

最近は人生の最後を迎えるための心構えや準備、終活を考える方が増えています。

その人生最後のお別れ会、葬祭を慣習にとられることなく、自分らしいセレモニーで送れるよう

事前に知っておくべき葬祭に関する知識や心構えなど事例を交えてお話しいたします。

【講演内容】・・・葬儀現状・賢い事前対応・その人らしいお見送り実例・家族葬から生前葬まで

「葬祭学」からみた供養とは何? どうする「墓じまい」・エンディングノートの活用・質疑応答

講師：二村 祐輔氏 TVでおなじみ葬祭コメンテーター

日本葬祭アカデミー教務研究室主宰

日時：平成29年3月29日(水) 午後1時30分～3時30分(休憩含む)

場所：すみだ女性センターホール(墨田区押上2-12-7-111)

費用：無料 対象：おおむね55歳以上 定員：60名(先着申し込み順で締め切ります。)

申込み・問合せ：NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

電話 5631-2577 FAX 5631-2578 受付時間 平日午前10時～午後4時



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部
〒131-0044 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(平日午前10時～午後4時)

メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jpn.org/>

二月に入り、暖かい
日があると体調も良
なり、久しぶりに歩
きたいの思いが出て
ました。
世の中の喧騒を忘れ
て、梅の便りに誘われ
て、楽しみたいと思
います。

編集後記